

令和4年度 米子市美術館事業報告書

1 管理業務の実施状況

1 施設管理の充実

- (1) 美術館周囲の日常点検、季節ごとの除草作業を行い美観の維持に努めた。
- (2) 収蔵庫点検を毎日行い、温湿度の異常や空調機器類の不具合を早期に発見し、部品交換などの適切な対応、収蔵品の良好な保存環境維持に努めた。

2 利用者サービスの向上など

- (1) 特別共催展「MINIATURE LIFE 展 ～田中達也 見立ての世界～」では作家の直筆画やサインを会場内各所に展示、またフォトスポットを設け来場者自ら撮影して楽しめる催しとして好評を博した。また撮影された展示風景がSNSで拡散され集客につながり、開館以来歴代5位 29,362人の来場者を記録した。
- (2) 郷土作家の調査研究の成果として、伯耆町生まれ米子北高出身の版画家・鈴木康生を取り上げ、企画展「鈴木康生 木口木版～暗闇に光を刻む～」を開催。作家による実演やワークショップを行い木口木版の技法や特徴、魅力を紹介した。あわせて作家によるオリジナル版画付き図録を発行、販売した。
- (3) AIR475（エアヨナゴ）と共催し、現代美術家・岡田裕子と三田村光土里のレジデンス成果発表展として、当館では岡田による「岡田裕子 いま、ここにいます」を開催。米子高専、島根大学、山陰歴史館の連携協力のもと動く彫刻や、昭和期と現在の米子がシンクロするビデオインスタレーションなどを展示。会期中の公開制作により来場者との交流の機会も提供することができた。受付や会場内の看視については高専生、島大生とともに当館サポーター（ボランティア）により行った。
- (4) 山陰歴史館と「山陰線開業120年の歴史」を共催し、鉄道ファンが美術館を訪れる貴重な機会となった。鉄道のまち・米子の鉄市実行委員会の協力により会期中の土日を中心にNゲージ(鉄道模型)の展示運転も開催し、子どもから大人まで楽しめる催しとなった。開催時期を鈴木康生展、AIR475展と合わせることで相乗効果により誘客を図った。
- (5) 特別企画展「満田晴穂 JIZAI」では米子生まれで国内唯一の自在置物作家である満田晴穂をとりあげた。会場の展示風景を含めた全出品作品を収録した図録を製作し通信販売の便宜を図った。来場者による展示作品の撮影を可能としSNS等による広報、集客に努めた。
- (6) ポストカード・図録以外の新しいオリジナルグッズとして美術館のロゴマークや収蔵作品のイメージをあしらったトートバッグ4種、クリアファイル1種を製作販売した。好評につき、トートバッグは追加製作した。

2 事業の実施状況

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	内容
鑑賞事業（実施事業）			
企画展 鈴木康生 木口木版 ～暗闇に光を刻む～ 主催：米子市、米子市教育委員会、 （一財）米子市文化財団 米子市美術館 関連事業：	R4. 7/16(土) ～8/21(日) [32日間]	2,634	「第17回国民文化祭・とっとり2002夢フェスタ版画の祭典」で国民文化祭実行委員会会長賞を受賞した木口木版画家・鈴木康生（1969～/伯耆町出身）の作品85点を展示。オリジナル版画付き図録刊行。 会場：第2展示室 観覧無料
作家によるオープニングトーク	7/16(土)	(28)	解説：鈴木康生氏(本展出品作家)
作家による実演	7/17(日) 7/18(月・祝)	(72)	会場内で彫りと刷りの工程を実演した。 実演：鈴木康生氏(本展出品作家)
木口木版ワークショップ (第1回ミュージアムスクール)	7/31(日)	(10)	講師：鈴木康生氏(本展出品作家) 会場：米子市明道公民館 第1研修室 参加費：1,100円
作家によるギャラリートーク	8/13(土)	(35)	解説：鈴木康生氏(本展出品作家)
おやこでアートじかん	会期中 毎週月曜	(42)	幼い頃から美術館及び美術に親しんでいただくことを目的に、未就学児とその親（父母・祖父母など）とが一緒に作品鑑賞する時間を会期中の毎週月曜日午前10時～正午に設定。展示作品の細部に着目できるシートを配布して、より楽しめる鑑賞を促した。
特別企画展 満田晴穂 JIZAI 主催：米子市、米子市教育委員会、 （一財）米子市文化財団 米子市美術館 協力：レントゲン藝術研究所準備室 関連事業：	R5. 1/22(日) ～2/26(日) [31日間]	4,298	金属などを素材とし、昆虫や蛇、甲殻類などをかたどった金属工芸品「自在置物」を継承する作家として国内外で活躍している満田晴穂（1980～/米子市生まれ）の美術館での初個展として、最近作16点を紹介。図録刊行。 会場：第1・2展示室 観覧料：一般500（前売400）円、大学生以下無料 ＊70歳以上の人、障がいのある方〔付添1人を含む〕、10人以上の団体、リピーター、美術館後援会会員、米子市歴史館友の会、Feel友の会会員等料金
作家によるオープニングトーク	1/22(日)	(82)	解説：満田晴穂氏（本展出品作家）
作家によるトークイベント	1/22(日)	(56)	解説：満田晴穂氏（本展出品作家）、 池内務氏（レントゲン藝術研究所準備室親方） 会場：米子市立図書館 多目的研修室
学芸員によるギャラリートーク	2/4(土) 2/18(土)	(102)	解説：喜多村主幹学芸員
おやこでアートじかん	会期中 毎週月曜	(11)	企画展に同じ
管理運営等事業			
展覧会事業			
特別共催展 MINIATURE LIFE展 ～田中達也 見立ての世界～ 主催：米子市、米子市教育委員会、 （一財）米子市文化財団 米子市美術館、 新日本海新聞社 特別協賛：山陰酸素グループ 関連事業：	4/23(土) ～5/30(月) 会期中無休 [38日間]	29,362	誰もが知っている身近なものを別のものに見立て、ユーモアあふれる小さな世界を作り出すミニチュア写真家で見立て作家の田中達也（1981～/熊本県生まれ）の代表作から新作まで写真110点とミニチュア作品49点を一堂に展示。 会場：第1～4展示室 観覧料：一般 1,100（前売900）円、小中高生 500円、未就学児無料 ＊一般で15人以上の団体、障がいのある方（付添1人を含む）は前売料金 ＊70歳以上の人、高校・大学生で15人以上の団体や障がいのある方（付添1人を含む）、日本海新聞みみちゃんクラブ・米子市美術館後援会・Feel友の会・米子市歴史館友の会会員は当日料金の100円割引 ＊会期中の水曜日は「とっとり子育て応援パスポート」「しまね子育て応援パスポート」提示で当日券の100円割引
田中達也トークショー	4/23(土)	(50)	講師：田中達也氏(本展出品作家) 会場：米子市立図書館 多目的研修室
第61回 米子市美術展覧会 (市展) 主催：米子市、米子市教育委員会、 （一財）米子市文化財団 米子市美術館 協力：第64回米子市音楽祭	6/10(金) ～6/18(土) 会期中無休 [9日間]	2,288	市民から公募した6部門（洋画、日本画、書道、写真、工芸、彫刻）247点（出品者数236人）を展示。 ＊初日開会式（1階ホール）にて門脇康一氏（ラ・エスペランサ代表）による演奏披露、表彰式（米子市立図書館2階多目的研修室）、審査講評（各展示室）を実施。 会場：第1～5展示室 観覧無料

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	内容
<p>共催展 山陰線開業120年の歴史</p> <p>主催：米子市、米子市教育委員会、 (一財) 米子市文化財団 [米子市立山陰歴史館・米子市美術館]</p> <p>関連事業：</p>	<p>7/31(日) ～8/28(日) [25日間]</p>	<p>1,136</p>	<p>山陰線の境-御来屋間鉄道開業から120年を迎えることを記念し、関連資料や写真などで山陰地方の近代化と発展を支えた鉄道の歴史を紹介。</p> <p>会場：第1展示室 観覧料：一般300(250)円 * () 内は15人以上の団体 * 70歳以上の人、大学生以下の人、障がいのある方(付添1人を含む)は無料[観覧料は山陰歴史館収入]</p>
<p>Nゲージ展示運転</p>	<p>7/31(日) 8/6(土) 8/7(日) 8/11(木・祝) 8/12(金) 8/20(土) 8/21(日) 8/27(土) 8/28(日)</p>	<p>(349)</p>	<p>協力：鉄道の街米子・米子の鉄市実行委員会</p> <p>会場：第5展示室</p>
<p>共催展 AIR475 2022 滞在成果発表展 「岡田裕子+三田村光土里 -岡田裕子 いま、ここにいます」</p> <p>主催：AIR475(エアヨナゴ) 共催：鳥取県、米子市、米子市教育委員会 (一財) 米子市文化財団 米子市美術館</p> <p>関連事業：</p>	<p>8/5(金) ～8/28(日) [21日間]</p>	<p>1,003</p>	<p>2021年、AIR475が招聘した現代美術作家の岡田裕子氏と三田村光土里氏によるリサーチと滞在制作が行われた。本展は岡田裕子氏のレジデンス成果展として、米子高専・島根大学・山陰歴史館の協力により、動く置物、ハリボテ、画像など昭和期と現在の米子との比較による展示等を行った。またこれまでのAIR475の活動を振り返るアーカイブ展示も行った。</p> <p>なお三田村光土里氏は「この場所に時計を取り戻す-古い時計の文字盤に、まちの記憶が蘇る-」と題して野波屋(米子市道笑町)で9/23(金・祝)～10/10(月・祝)にてパフォーマンスを上演や映像によるインスタレーションを行った。</p> <p>会場：第3・4展示室 観覧無料</p>
<p>オープニングギャラリートーク</p>	<p>8/5(金)</p>	<p>(41)</p>	<p>解説：岡田裕子氏、三田村光土里氏(本展出品作家)、AIR475代表</p>
<p>アーティストによるギャラリートーク</p>	<p>8/6(土)</p>	<p>(55)</p>	<p>解説：岡田裕子氏、三田村光土里氏(本展出品作家)</p>
<p>三田村光土里 Art & Breakfast@ヨナゴミュージアム</p>	<p>8/7(日)</p>	<p>(17)</p>	<p>朝食を通して滞在先の環境やそこに住まう人々と交流するプロジェクト。</p> <p>会場：米子市美術館前広場 協力：フルーツカフェサエキ</p>
<p>岡田裕子 公開制作 「Rub me tender Love my past: YONAGO 2022」</p>	<p>8/5(金) 8/6(土) 8/7(日) 8/19(金) 8/20(土) 8/21(日) 8/26(金) 8/27(土) 8/28(日)</p>		<p>- 米子の人々がかつて使用していた家具や日用品を、作家がその場で布にフロッタージュしていく公開制作展示。</p>
<p>共催展 共に生きるアート展 KANSEI 9 ～障がいのある人たちが創造するカタチ～</p> <p>主催：米子市 共催：米子市教育委員会、 (一財) 米子市文化財団 米子市美術館</p>	<p>9/13(火) ～9/19(月・祝) [6日間]</p>	<p>937</p>	<p>市内の障がい者施設に入通所している方による美術作品164点を展示。</p> <p>会場：第4展示室 観覧無料</p>
<p>第66回 鳥取県美術展覧会 (県展)</p> <p>主催：鳥取県、鳥取県教育委員会、 新日本海新聞社 共催：米子市美術館、倉吉博物館、 日南町美術館、境港市</p>	<p>10/8(土)～ 10/17(月) 会期中無休 [10日間]</p>	<p>2,706</p>	<p>県民から公募した8部門(洋画、日本画、版画、彫刻、工芸、書道、写真、デザイン)のうち入選作品408点を展示。</p> <p>会場：全館 観覧無料</p> <p>*初日、審査員による講評とギャラリートークは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p>
<p>コレクション展 I はじめまして! 新コレクション</p> <p>主催：米子市、米子市教育委員会、 (一財) 米子市文化財団 米子市美術館</p>	<p>9/4(日) ～10/2(日) [25日間]</p>	<p>1,099</p>	<p>令和3年度に米子市美術館後援会より寄贈された金畑実(1918-2001)、坂口寛夫(1919-2014)、石田整昭(1927-1999)、前田進(1928-2016)、梅原宏治(1932-1985)といった郷土の美術振興に大きな足跡を残した作家や、郷土を離れて活躍した齋鹿逸郎(1928-2007)の代表作など、平成28年度以降に収蔵した洋画、写真、版画、彫刻、日本画53点をまとめて紹介。</p> <p>会場：第2展示室 観覧料：一般330(270)円 * 大学生以下の人、70歳以上の人、障がいのある方(付添の人1人含む)及び米子市美術館後援会会員は無料 * () 内は15人以上の団体、Feel友の会、米子市歴史館友の会会員等の料金</p>

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	内容
関連事業:			
学芸員によるギャラリートーク	9/17(土) 10/1(土)	(27)	解説: 喜多村主幹学芸員
おやこでアートじかん	会期中 毎週月曜	(5)	幼い頃から美術館及び美術に親しんでいただくことを目的に、未就学児とその保護者とが一緒に作品鑑賞する時間を会期中の毎週月曜日午前10時～正午に設定。対象者に展示作品の細部に着目できるペーパーを配布して、より楽しめる鑑賞を促した。
コレクション展Ⅱ 人それぞれ 主催: 米子市、米子市教育委員会、 (一財) 米子市文化財団 米子市美術館 関連事業:	10/30(日) ～11/27(日) [26日間]	1,290	コレクションの中から人物を題材にした作品を、「自像」「肖像」「ヌード」「ある場面」「こども」の5つのテーマにより、洋画、日本画、写真、彫刻、版画、素描の合計53点を展示。 会場: 第2展示室 観覧料: コレクション展Ⅰに同じ *「文化の日」「関西文化の日」無料開放日 11/3(木・祝)、11/19(土)、11/20(日)の3日間 (期間中入場者数: 402人)
学芸員によるギャラリートーク	11/12(土) 11/26(土)	(20)	解説: 青戸副館長
おやこでアートじかん	会期中 毎週月曜	(2)	幼い頃から美術館及び美術に親しんでいただくことを目的に、未就学児とその保護者とが一緒に作品鑑賞する時間を会期中の毎週月曜日午前10時～正午に設定。展示作品の細部に着目できるペーパーを据置配布して、より楽しめる鑑賞を促した。
教育普及事業			
ミュージアムスクール	全4回		
木口木版ワークショップ (企画展関連事業)	7/31(日)	10 (※)	講師: 鈴木康生氏(版画家・企画展出品作家) 会場: 米子市明道公民館 第1研修室 参加費: 1,100円
ワークショップ 「絵画レッスンABC」	10/10(月・祝)	14 (※)	講師: 米子美術家協会会員(加藤哲英氏、倉鋪悠氏、中野勝喜氏、濱田美由紀氏、浜野洋一氏) 会場: 米子市明道公民館 第1研修室 参加費: 500～1,000円
アートな散歩 ～街のなかのアートと歴史を探そう～ (美術館・山陰歴史館連携事業/フレイル予防事業)	10/16(日)	24 (※)	解説: 喜多村主幹学芸員、 (山陰歴史館) 山本副館長 場所: 米子市文化ホール→米子駅周辺→西部総合事務所周辺→旧出雲街道→米子彫刻ロード(新加茂川沿い)
美術上映会 「4Kでよみがえる浮世絵2 歌川広重『名所江戸百景』」 (令和5年度特別共催展「大広重展」関連事業)	3/12(日)	43	2017年製作/46分/4K・VR徳島映画祭2017優秀賞受賞作品 会場: 第1展示室 解説: 前田学芸員
出前講座			
アート鑑賞会 淀江ゆかりの作家たち ～米子市美術館収蔵品を中心に～	6/15(水)	21 (※)	依頼元: 米子市淀江公民館 解説: 喜多村主幹学芸員 場所: 淀江公民館
米子彫刻ロード解説 (東京大学フィールドスタディ型 政策協働プログラム)	9/25(日)	8 (※)	依頼元: 中海・宍道湖・大山圏域市長会 会場: 米子市文化ホール～米子コンベンションセンター～新加茂川沿い～湊山公園艇庫 講師: 井田勝己氏(彫刻家) 案内補助: 青戸副館長
米子市小学校図画工作研究部会研修	1/6(金)	33 (※)	依頼元: 米子市小学校図画工作研究部会 会場: 米子市立箕蚊屋小学校体育館 講師: 青戸副館長
米子市文化財団・米子工業高等専門学校連携事業 夏のこども体験教室 「リサイクル工作で ランプシェードを作ろう！」	7/23(土)	8 (※)	講師: 上田輝美氏(米子工業高等専門学校) 会場: 米子市淀江文化センター 会議室2
米子市文化財団連携事業 米子市文化財団 カルチャー・フェスティバル2022 ～遊んで学ぼうSDGs～ 「レッツリメイクエコグッズ!!」 「施設紹介パネル展示」	9/24(土) 8/15(月)～ 9/24(土)	1,078 (※) うち 美術館ブース 40(※)	米子市文化財団の12施設が集まり、1日限定の昔遊び、工作、ステージイベントなどを展開。美術館ブースでは、過去の展覧会ポスターを活用したペーパーバッグやチラシを利用したぼち袋を作るワークショップを実施した。 会場: 米子市伯耆古代の丘公園 おまつり広場 会場: 米子市児童文化センター他
カフェ連携事業	主に主催展 会期中	-	美術館喫茶室フルーツカフェエキの協力により、展覧会コラボレーションメニューを数量限定で販売提供した。 - 田中達也展「どこから食べるかこ抹茶う宇宙パフェ」 鈴木康生展「キノコランド氷」 岡田裕子展「いまここにいますパフェ」 満田晴穂展「たまたまどら焼きで出来ているフルーツサンド」

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	内容
博物館実習受入	随時	-	1人受入(京都外国語大学)
インターンシップ受入	随時	-	5人受入(鳥取環境大学1人、島根大学2人、ノートルダム清心女子大学1人、梅花女子大学1人)
「総合的な探究の時間」受入	随時	-	3人受入(鳥取県立米子西高等学校1人、米子北高等学校2人)
「総合的な学習」受入	11/10(木)	-	6人受入(「地域を知ろう～地域の再生に向けて努力する人々と地域社会～」米子市立湊山中学校)
刀剣及び拵の特別観覧	12/8(木)	(18)	たたらと刀剣をテーマとした旅行商品造成事業のためのモニターツアー 主催：大山山麓・日野川領域観光推進協議会 解説：森井徳訓氏(刀剣研師) 解説補助：青戸副館長 場所：第5展示室
サポーター(ボランティア)	通年	-	展覧会、年間スケジュール広報発送補助、看視受付員補助研修、共催展看視受付補助、アートな散歩参加者補助、新聞スクラップ整理作業等 54回のべ80人活動(第8期2年目・33人登録)
アンケート	通年	-	展覧会・イベント来場者に配布し意見・要望等を回収、貸館時は1階ホールに一般入館者を対象に設置配布
ホームページによる情報提供	通年	-	展覧会情報、貸館展示情報、展示室空き状況、チケット取扱等随時更新
SNSによる情報発信	随時	-	Twitter上で展覧会関連情報・イベント関連情報やトピックをリアルタイムで発信
レファレンスサービス	随時	-	郷土ゆかりの作家、展覧会、美術・博物館に関することなど市民からのあらゆる問い合わせに対応し情報提供した。
美術館オリジナルグッズ製作	10月～販売開始	-	①トートバッグ4種(美術館ロゴ白黒、笹鹿彪《小鳥屋》、香田勝太《猫と芍薬》) ②クリアファイル1種(伊谷賢蔵《伯耆大山晩秋》)
資料収集事業			
郷土関係作家、次年度以降事業資料収集	通年	-	収蔵作家関係、地元作家、若手作家関係調査 次年度企画展等実施に向けた調査等
収蔵作品・資料データベース化	通年	-	収蔵品管理システム入力
収蔵図書データベース化	通年	-	収蔵品管理システム入力
収蔵品の修理・修復	随時	-	米子市所蔵及び寄託刀剣手入(年2回) 関野準一郎《椿と鬼灯》ほか7点版画作品マット装
収蔵品の貸出等	随時	-	鳥取県立博物館移動美術館・南部展「もっと版画りましょう。」(キナルなんぶ)へ版画プレス機1点貸出 「鉄道と美術の150年」(東京ステーションギャラリー)へ岩佐保雄《踏切を守る母子》ほか計2点貸出 画像貸出6件(13点)
収蔵品状況			洋画204点、日本画93点、素描294点、彫刻34点、書10点、版画364点、写真841点、工芸1点、資料75点 合計1,916点
その他事業			
展覧会図録等の売捌	通年	-	既刊展覧会図録や所蔵品目録などの販売
年報発行	隔年 (本年は準備年)	-	令和6年度に第2号隔年報として令和3・4年度の2ヶ年分の美術館活動報告をまとめて刊行予定
開館記念日イベント	6/17(金)	-	当日来場者206人に収蔵作品のポストカードをプレゼント
戸田海笛《喜怒哀楽の図》 ブロンズレリーフの点検・清掃	2/20(月)	-	職員とインターンシップ実習生で清掃作業を実施
井上幸夫・英子コレクション 展示替等	6/24(金) 9/13(火) 12/9(金) 3/24(金)	-	アジア博物館に寄託されているアール・ヌーヴォー期のガラス工芸作品について定期点検を実施
主催事業入場者数合計(人)		46,796	美術館外で実施したもの(※)及びギャラリートークなど入場者が重複しているもの()は除く

3 施設の利用状況

(1) 貸館利用者へのサービス向上

ア 希望団体の事前申請により、開館時間外の延長利用（開会式、搬入出作業）に対応した。

イ 利用者との打ち合わせを徹底し、広報物及び照明プランや展示レイアウトのアドバイスをを行った。

ウ 1・2階ホール部分の同時期利用について利用者間の調整をおこない、希望に沿うよう対応した。

(2) 施設の利用状況

開館日数 315日

展示日数 260日

総入館者数 75,419人

室名	利用日数(日)	利用件数(件)	利用者数(人)	利用料(円)	備考
第1展示室	145	21	14,880	575,840	
第2展示室	43	5	6,029	256,200	
第3展示室	124	19	15,445	509,140	
第4展示室	110	17	17,704	951,260	
第5展示室	41	7	7,097	44,139	
合計	168	52	28,623	2,336,579	

※利用日数、利用件数、利用者数の合計は重複しているものを除く

※貸館では新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る開催中止（予約キャンセル）は0件